

(様式 7)

平成 28 年度 高校卒業生職場定着促進事業における
キャリア教育充実プログラム
実施報告書

28 宇水高第 413 号
平成 29 年 3 月 9 日

愛媛県教育委員会高校教育課長 様

愛媛県立宇和島水産高等学校長 田上 和昭 印

次のとおり、標記事業におけるキャリア教育充実プログラムを実施したので、実施報告書を提出します。

1 主題等

主 題	キャリア教育年間指導計画における職場見学の効果的な位置づけの考察
主題設定の理由	本校では、発達段階に合わせて、1 年次に職場見学、2、3 年次に現場実習を計画し、継続してキャリア教育を学習している。しかし、企業とのミスマッチによる離職もあるのが現実である。ミスマッチを少なくしていくため 3 年次における応募前職場見学や企業説明会の効果的な実施方法について考えたい。
事業実施対象生徒 (小・中・高)	平成 26 年度入学生 49 名
事業のねらい等	自立した社会の形成者となるための、職業観、勤労観を育む指導を行うキャリア教育年間計画における応募前職場見学や企業説明会の効果的な位置づけを考察していく。

2 実施内容

(1) キャリア教育の全体計画及び年間指導計画についての評価

本校は、平成 25 年度に作成したキャリア教育全体計画及び年間指導計画を新学習指導要録に対応するように見直した。キャリア教育全体計画及び年間計画を改善することにより、学校全体で取り組むべき方向性を考えることができた。今後も水産高校生として卒業時に地域・保護者・産業界から期待され、求められる能力を育成するために来年度以降もキャリア教育の全体計画及び年間計画の改善に取り組んでいきたい。

(2) キャリア教育推進委員会の設置

○キャリア教育推進委員会の概要についての評価

キャリア教育推進委員会を下記の構成員で計画表のとおり実施した。卒業生就労調査においては、卒業生の満足度は想定よりも高かったと評価していただいた。

委員長 校長

委員 教頭、進路課長、各学科長、3 年学年主任、教務課長、生徒課長、進路課員
年間計画

5 月 キャリア教育推進委員会委員依頼

5 月 第 1 回キャリア教育推進委員会

- ・キャリア教育全体計画、年間指導計画の作成
- ・卒業生就労調査

7 月 第 2 回キャリア教育推進委員会

- ・求人開拓状況報告
- ・企業説明会報告

8 月 第 3 回キャリア教育推進委員会

- ・応募前職場見学実施状況

上記のようにキャリア教育推進委員会を設置し、年間計画を作成した。

第 1 回キャリア教育推進委員会では、キャリア教育全体計画、年間指導計画と卒業生の就労調査の 2 点について報告及び評価をしていただいた。就労調査では、県下の平均より定着状況が良く、継続してほしいと評価をいただいた。

第 2 回キャリア教育推進委員会では、県内、県外における本校の求人開拓状況を説明し、生徒の希望状況にあった求人開拓ができていると評価いただいた。

第 3 回キャリア教育推進委員会では、応募前職場見学実施状況について説明した。

○教員の企業訪問による求人開拓及び企業側の要望調査

訪問時期		訪問企業数	求人確保数	企業の要望
①	5月	7社	8名	職場見学の積極的な実施
②	6月	6社	6名	新入社員に学校で話す機会を与えてほしい。
③				
		備	考	

○卒業生の就労調査（水産）学科

卒業年月	就職者数	定着者数	不明者数	離職者数	離職率	主な離職理由
平成28年3月	49	43	0	6	12.2%	職場不適合・ケガ
平成27年3月	35	27	0	8	22.9%	職場不適合・転職
平成26年3月	41	31	0	10	24.4%	職場不適合・妊娠
		備	考			

(3) ビジネスマナー講座
(水産食品) 学科

	実施内容	位置付け	実施時期	期間	学年	参加形態	人数	講師数
①	ビジネスマナー講座	A	7月	1日	123年	S	20人	1
②								
③								
		備	考					

注1 対象(小)学科が複数あるときは、学科数分枠をつくること。

2 位置付け欄には、教育課程上の位置付けで、「A：現場実習等職業に関する教科・科目の中で実施（Cの場合を除く。）、B：課題研究の中で実施、C：学校設定教科・科目で実施、D：総合的な学習の時間で実施（Fの場合を除く。）、E：特別活動で実施（Fの場合を除く。）、F：総合的な学習の時間で実施し、特別活動の学校行事としても読み換えている、G：学校外における学修として実施、H：教育課程には位置付けず実施」の中から該当するA～Hの記号を記入すること。なお、二つ以上に該当する場合は、該当する記号全てを記入すること。

3 参加形態欄には、原則として当該学年・学科の全員が参加する場合はAの記号を、選択・希望者等当該学年・学科の一部の生徒が参加する場合はSの記号を記入すること。

4 備考欄には、同じ生徒が複数のビジネスマナー講座に参加する場合、その旨を下記の(例)の要領で記入すること。

(例) ②の30名のうち、20名は①にも参加

5 それぞれの講座の講師（所属）一覧表を添付すること。

(4) 企業等におけるインターンシップ
(水産食品) 学科

実施内容	位置付け	実施時期	期間	学年	参加形態	人数	受入企業数
① 量販店現場実習	A	6月	5日	3年	A	15	7
②							
③							
備 考							

注1 (3)の注1～3と同じ。

2 備考欄には、同じ生徒が複数のインターンシップを実施する場合、その旨を下記の(例)の要領で記入すること。

(例) ②の30名のうち、20名は①も実施

3 インターンシップ受入先一覧表をそれぞれ添付すること。

(5) 企業説明会・職場見学会

○企業説明会

(海洋技術 水産食品) 学科

実施内容	位置付け	実施時期	期間	学年	参加形態	人数	講師数
① 企業説明会	A	7月	1日	123年	S	20	1
② 内航船事業者説明会	A	11月	1日	2年	A	23	3
③							
備 考							

注1 (3)の注1～3と同じ。

2 備考欄には、同じ生徒が複数の説明会に参加する場合、その旨を下記の(例)の要領で記入すること。

(例) ②の30名のうち、20名は①にも参加

3 それぞれの説明会の講師(所属)一覧表を添付すること。

○職場見学会

(水産食品) 学科

実施内容	位置付け	実施時期	期間	学年	参加形態	人数	講師数
① 市場見学	A	3月	1日	1年	A	16人	1
②							
③							
備 考							

注1 (3)の注1～3と同じ。

2 備考欄には、同じ生徒が複数の見学会に参加する場合、その旨を下記の(例)の要領で記入すること。

(例) ②の30名のうち、20名は①にも参加

3 それぞれの見学会の講師(所属)一覧表を添付すること。

(6) キャリア教育に係る情報発信の概要

事業終了後、実施内容をホームページ内の研究報告のページで情報発信した。

3 成果と課題

高校卒業者職場定着促進事業におけるキャリア教育充実プログラムを実施するにあたって、主題を「キャリア教育年間指導計画における職場見学の効果的な位置づけの考察」とし、1年間継続して研究した。本校は、就職者が全体の3分の2以上を占めるため生徒の進路を考える際、そのウェイトは大きい。そのためキャリア教育において様々な活動（インターンシップ、職場見学、企業説明会、職場開拓など）を行い企業理解や職業観の育成に取り組んでいる。

成果としては、学校斡旋就職者24名のうち21名（87.5%）が応募前職場見学を行っている。課題としては、県外就職者など一部生徒については経済的事情により見学に参加できない生徒もいた。また、応募前職場見学は7月の求人票受理後しかできないため、8月には就職希望先を決定しなければならない生徒にとっては遅いと感じた。制度として7月前に見学ができることが望ましいと感じた。